

4 R

長野県長野工業高等学校 土木工学科

小川原大翔 浅川銀二

テーマ設定の理由

全体的に4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）への意識が薄いと思ったから。

現状

- 長野県民の約30%がレジ袋を受け取っている。
- 使い捨て容器入り製品などを買う事でゴミが多く出ている。
- 分別をあまりできていない。
- 一人当たりのごみの排出量が約925g
- 壊れたものを修理せずすぐに捨ててしまっている。

問題点

- ・ 天然資源の無駄
- ・ 二酸化炭素の排出量の増加
- ・ 日本ではあと約10年でゴミの最終処理施設が一杯になってしまおうと言われている。

課題点

- ゴミが出にくい製造法、再利用しやすい原料を使った製品作り、再生可能な素材の開発などの取り組みを広める。
- 「可燃ゴミと資源ゴミをきちんと分別しよう」や「長く使えるものを選ぼう」という考え方を意識する。

SDGs実現のための 10代からの提言

- 徳島県上勝町のようにゴミを45分別したり、大阪府堺市のようにゴミの4R運動の推奨などをして長野県民全員が4Rを意識できるようにする。

考察・感想

4 Rの現状・問題点・課題点を調べてみて長野県ではまだ4 Rがあまり意識出来てないことが分かった。それを改善するための取り組みをしていくことが大切だと思った。